

MOC/GRIN '97 参加報告

(株)マイクロオプト

渡辺 泰之

Conference Report on the MOC/GRIN '97

Yasuyuki Watanabe

Micro Optics Co., Ltd.

1. はじめに

昨年10月7~9日の3日間、MOC/GRIN '97 (6th Microoptics Conference and 14th Topical Meeting on Gradient-Index Optical Systems) が早稲田大学国際会議場の井深大記念ホールにて開催された。第一回MOCが1987年東京で開催されてから隔年に催され、今回が10周年である。筆者はたまたまプログラム委員として本会議の準備、当日の会場係として参加する事ができたので若干の裏話も含め、簡単ではあるが参加報告としてまとめてみたい。

2. 概況

まず今回の参加状況であるが、投稿論文数は過去最高を記録し、参加者も200名を超す盛況であった。そのために計画段階では会議期間の延長が議論されるほどであった。今回は基調講演2件、7つのカテゴリと2つのスペシャルセッションを招待講演10件と一般発表46件、それとポスターセッションで3日間の会議を構成した。特に2つのスペシャルセッション、“Key Microoptic Devices for WDM Net-

works”, “Milestones toward Terabyte Optical Memories”, は時代を反映したホットなテーマであり活発な議論が行われた。しかし多くの内容を詰め込んだ都合上、各発表及び質疑応答の時間が短くなってしまい、十分な議論が出来なかったのが多少残念に感じられた。

3. トピックス

GRIN関係では、GIプラスチックファイバの進化(?)がなんとと言っても昨年が一番であろう。本会議でも85°Cにおける耐熱性の5000時間以上にわたるデータを発表した。(N4:慶応大, 神奈川技術アカデミー) 低損失に関しては理論的に証明されており、今後の研究成果にますます期待出来る。

DVDに関しては、シリコンのSIL, Solid Immersion Lens, の提案 (Q1:東海大) VCSELを使った光学ヘッド (D1:Samsung), Cavity-SNOMヘッド (Q2:日立) 等、が筆者には目新しかった。

その他、Intra-Cavity Contacted VCSEL (F1:Eindhoven大学), 二次元ファイバアレイ (K1:McGill大学, Schott, NTT), テラバイト通信時代に必要な光部品に関する講演 (L3:富士通研究所) が興味を引いた。

個人的な感想だが、基礎的な研究から応用例

まで多くの発表が行われそれなりに有意義ではあったが、専門分野に限定された会議が多い。昨今、MOCの特色は何であろうかと考えさせられた。今後の課題の一つではなからうか。

さて舞台裏のトピックスをいくつか。眼鏡のレンズが取れてしまい受付に助けを求めに来た人。精密ドライバを捜し出して修理したら“*You are a Good Optical Engineer!*”。日本でしか現像できないレンズ付きフィルムを買ってしまい、受付に現像と帰国先に郵送を頼む人。事務局の電話で扎扎实り国際電話をする人。とにかくいろいろあった。

4. 会議を終えて

最後に余談になるが、今回の最大の特色は、学会事務センタを使わず、ほとんどすべてがプログラム委員及び微小光学事務局による手作りの学会であったことである。準備段階は当然ながら、当日の会場設営、受付、音響担当にいたるまですべて手作りの国際会議であった。国際会議の運営に参加するのはもちろん初めての経

験であった筆者は、オロオロするばかりであった。MOC/GRIN '97が終わったばかりではあるが、すでに次回、1999年の開催準備が始まった。今回の経験をふまえ更に実のある会議になることを祈りたい。

関係者のみなさん、ほんとうにお疲れさまでした。

MOC/GRIN AWARD 受賞者

Dr. Alain CARENCO CNET
 Prof. Giok-Djan Khoe Eindhoven Univ. Tech.,
 Mr. Tadashi Kojima Konica Co.,
 Prof. Koich Nishizawa Univ. of Polytechnic

Best Paper Award

Micro-External Cavity Laser Diode with Comb-Drive Nickel Micromirror
 Y. Uenishi, K. Akimoto, Y. Katagiri, S. Nagaoka
 by NTT